



鈴木 広樹 著
国元書房 刊
価格=¥1,785 (税込)

株式投資に活かす適時開示 伸びる会社はこれでわかる

株式投資に活かすためのディスクロージャーの読み方

これまで100社を超える株式公開企業に対してディスクロージャーを指導してきた鈴木氏。ディスクロージャーとは、株式を公開した企業に対して法律や規則によって義務付けられている自社の情報開示のこと。これまでも同氏はディスクロージャーの実務書を何冊か出されているが、本書では「株式投資に活かす」という切り口で、ディスクロージャーについて解説している。適時開示（タイムリー・ディスクロージャー）とは、証券取引所の規則によって義務付け

られたディスクロージャーで、会社による最も早い自社の情報開示のこと。その内容・種類は多岐に渡るが、多くの場合、株価材料となる可能性が高い。本書では、豊富な実例をもとに丁寧に解説されており、個人投資家にとっても非常に役立つ内容となっている。また、ディスクロージャーという側面から、伸びる会社の特徴を捉えて解説しているのは、本書以外にはなく、全くのオリジナルといえるだろう。



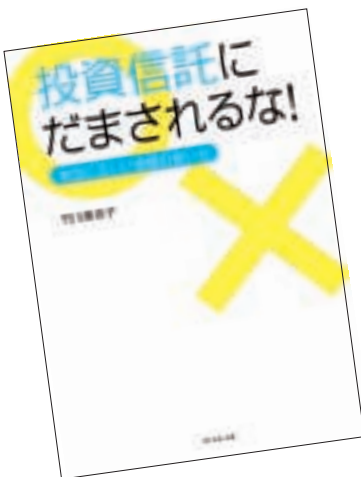
藤巻 健史 著
光文社 刊
価格=¥1,575 (税込)

マネーはこう動く 知識ゼロでわかる実践・経済学

明快な主張と軽妙な語り口で気軽に読める独自の経済入門書

元・モルガン銀行東京支店長であり、早稲田大学大学院などの非常勤講師を務める藤巻氏による経済学入門書。かのジョージ・ソロス氏の投資アドバイザーを務めた経験もある著者が、自身の資産運用の話を中心に、経済の基本理論と今後の日本経済の動向、今後どのように資産を運用すればいいのかをまとめている。為替、債券、不動産投資、株投資の実際が裏事情も含めて語られており、多くの読者にとって興味深い内容といっていだろう。近年

注目を浴びているサブプライムローン問題などで社会のお金に対する不安が増大していることもあり、ベストセラーとなっているようだ。その主張はこれまでの著者の主張と変わることなく、「円安ドル高」、「将来のインフレ」と首尾一貫しており、個人的には好感が持てるが、同氏の過去に書かれた本をまとめた感もいなめない。とはいえ、その明快な主張と軽妙な文章で肩肘を張らずに読みきれるので、同氏の著作を読んだことのない方にはぜひ一読をすすめる。



竹川 美奈子 著
ダイヤモンド社 刊
価格=¥1,575 (税込)

投資信託にだまされるな! 本当に正しい投信の使い方

日本の投資信託の問題点と正しい利用法を明快に解説した一冊

超低金利政策と団塊の世代の大量退職を背景に、投資信託がこれまでにない勢いで売れている。政府主導による「貯蓄から投資へ」という流れもあり、この勢いは止まりそうもない。しかしながら、日本の投資信託の現状は、いまだ投資信託を購入する投資家の立場に立ったものとはいえないだろう。本書はそのような問題点を明快に指摘するとともに、どのような投信を購入したらいいのかを具体的に解説している。たとえば「分配金をもらっても資産の総量

は増えないし、税金もひかれる」と高齢者層を中心に人気の高い（あるいは高かった）「毎月分配型投信（毎月分配金が入る投信）」の落とし穴を指摘。さらに、複数の投信に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」という商品の場合、手数料が高く成績が芳しくないような投信が組み込まれている場合があることに触れ、「売れない投信の在庫処分をしている」と痛烈に評している。投信の購入を考えている投資初心者にとって非常に役立つ一冊となるだろう。